

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月23日

令和元年度(3年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 11, 事業名, 広域連携促進事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 商工会支援部, 担当課名, 南部支援センター, 担当課長名, 渡邊由香, 施策コード, 6, 施策名, 商工会間の広域連携の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

地域内事業者及び会員の減少に加え、事業事務の効率化を図るため、同一事業の共同実施や、テーマ別の事業連携、小規模商工会の近隣商工会との組織連携など、地域を超えた商工会間の広域連携による事業展開についての検討と実施が必要となっている。

2. 事業のねらい

商工会の限られた経営資源を有効に活用し、スケールメリットを活かした効果的・効率的な事業展開を図るとともに、個社支援に集中できる環境を整えるため、広域連携を推進し、事業者に対し質の高いサービスを提供する。

3. これまでの評価結果

Table with 10 columns: 過年度, H29, -, H30, B, R1, R2

既存事業の連携と連携事例の情報収集については有効かつ効率的にできたことで、概ね順調に推移している。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

商工会の抱える課題の共有と解決、小規模商工会の組織運営に関する広域連携のあり方について検討を行い、商工会間の業務連携の提案を行っていく。

【取組評価】

Table with 8 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 22, 23, 24.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 19 columns for performance metrics: 取組コード, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈評価の理由〉

商工会の業務効率化と効果的な実施のためにも広域連携事業の実施や業務連携を促進させていくための検討が必要である。また、商工会未設置地区の事業者に対する支援を効率的に行うためにも近隣商工会との連携は必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

広域連携連絡会議は共通テーマ設定が出来ず開催に至らなかったが、商工会の指導員会議等に参加し、個別アプローチで連携の提案を行った。また、商工会未設置地区の事業者に対する支援のあり方を検討し、近隣商工会からの支援に加え、嘱託専門家による指導・アドバイスを実施したことにより、今後の取り組みの方向性を定めることができた。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

全県で実施している連携事業の情報収集と状況把握を行い、リスト化することで商工会に対して効率的な事業連携の提案を行った。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

広域連携ガイドラインに基づき提案を行った結果、既存事業の連携については有効かつ効率的な実施につなげ、概ね順調である。

3. 課題

合併商工会においては、近隣商工会との事業連携の機会はあるが、市町村との連携や会議所との連携の問題などもあり、それぞれの商工会で状況に違いがあることから、他商工会との業務(組織)連携の検討には至っていない。小規模商工会の事務量軽減、コスト削減に向けた連携提案に取り組む必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

商工会間の広域連携を推進するため、各商工会の受託事業等の事業評価の結果を踏まえた業務連携の提案を進めていく。